

トークンレス・ワンタイムパスワード

PassLogic

エンタープライズ版

バージョンアップ概要とリリースノート(エンタープライズ版 v2.3.1)

2016/3/24



1. リリースノート

PassLogicの歩み

1987

「乱数表から抜き出してワンタイムパスワードを生成する」システム PassLogic認証方式を発明。

2000

PassLogic認証方式が米国特許 (US6141751) を取得。



2000-2006

パソロジック方式の技術ライセンスを日本企業へ提供。

2007

PassLogicのパッケージ販売を開始。SSL-VPN連携機能を実装。



2008

Webサービス組み込み用APIを強化。スマートデバイスにいち早く対応。

2009

Webアプリとの連携機能 (リバースプロキシ & SSO) を実装。LDAPからのユーザID同期を実装。

2010

セキュリティポリシーや運用機能、連携機能など基本機能を大幅に拡充。英語対応し海外展開が可能に。マルチテナント版リリース。

2011

クラウドアプリ連携 (SAML) に対応。スマートデバイス最適化。

2012

マルチテナント版機能拡充しサービスプロバイダのデファクト採用の礎に！ (ソフトバンク/富士通/KDDI/NEC/IIJ など)

70万ID突破

2013

運用の自動化を実現する機能拡充。

80万ID突破



2014

小規模から大規模要件まで対応可能なエンタープライズ版をリリース。

90万ID突破

2015

エンタープライズ版の機能拡充。主要連携製品とメーカー間の検証を完了。

100万ID突破

2016

リリースノート

【機能改善・不具合修正】

- ent-2.3.0 RHEL7「アクセスグループを指定したWebAPPにリバースプロキシすることができない」不具合を修正
(ent-2.3.1へアップデート後WebAPPを再登録してください)
(RHEL6は影響なし)

